

多文化社会人材の専門職化

人材養成の 取り組みから 可能性を探る

日時：2013年11月30日(土) 10:00-18:00

懇親会 18:20-19:30

場所：東京外国語大学 府中キャンパス

(西武多摩川線 多磨駅徒歩5分)

要事前申込み(定員300人)

入場無料(懇親会のみ3,000円)

第7回

多文化社会実践研究・全国フォーラム

主催：東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター Tel. 042-330-5441

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1

申込先：<http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/cemmer/>

後援：内閣府 総務省 法務省 外務省 文部科学省 関東弁護士会連合会 府中市 調布市 財団法人自治体国際化協会
公益財団法人武蔵野市国際交流協会 東京学芸大学国際教育センター 異文化間教育学会 移民政策学会
多文化間精神医学会 日本言語政策学会 公益社団法人日本語教育学会 日本社会教育学会

日本社会の多文化化の進展に伴って、言語・文化の異なる住民を受け入れていくための方策を立案するなど、現場に生起する問題の解決に寄与できる専門人材の必要性が提起され、その養成が様々な形で行われるようになってきました。

本センターでは2011～2015年度の5年間で「多文化社会人材養成プロジェクト」を実施しています。そこで、本フォーラムでは多文化社会に求められる人材の専門職化をテーマに段階的にみなさんと議論を進めていきたいと思えます。

今年度はその第一弾として、多文化社会の人材養成の取り組みについて、中心的に関わっている方々からご報告をいただき、その意義と課題、さらに多文化社会を担う人材の専門職化の可能性および課題点について議論を進めます。

申込方法

本センターHPのフォームからお申込みください。

<http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/cemmer/>

※インターネット環境のない場合は下記にご連絡ください。

問い合わせ

東京外国語大学
多言語・多文化教育研究センター

Tel.042-330-5441
Fax.042-330-5448



当日参加された方で希望者には
「在日タイ語圏児童のための漢字教材」
(1年生配当漢字)見本版を差し上げます。
※お1人様/1団体 1冊とさせていただきます。

プログラム

2013年11月30日(土)

10:00 ■挨拶 立石博高(東京外国語大学長)
青山 亨(多言語・多文化教育研究センター長)

10:10 ■パネルディスカッションI
司法分野における遠隔通訳の実験的取り組みと
コミュニティ通訳の役割 —13の弁護士会との協働研究から

パネリスト
名倉貴之(コミュニティ通訳コース修了者、スペイン語通訳者)
高貝 亮(弁護士、関東弁護士会連合会 外国人の人権救済委員会副委員長)
指宿昭一(弁護士、関東弁護士会連合会 外国人の人権救済委員会委員長)
内藤 稔(本センター特任講師)
コーディネーター
杉澤経子(本センタープロジェクトコーディネーター)

11:50

11:50 ■ランチタイムセッション

遠隔通訳デモンストレーション

① 12:00— ② 12:20— (各15分間)

午前中のパネルディスカッションのテーマである「遠隔通訳」が実際にはどのように行われているのか、その一端を実演します。

12:40

12:40 ■研究発表セッション

I 12:40—14:10 / II 14:20—15:50

◆個人/グループ発表

日本の多言語・多文化化に関する実践や研究をしている方々が発表します(発表者・発表内容は、10月以降センターHPでご覧いただけます)。

■特定課題セッション(12:40—15:50)

◆実践研究交流ラウンドテーブル

◆多文化社会における専門人材に関する研究発表

15:50

16:00 ■パネルディスカッションII

「多文化」を巡る専門人材の養成と専門職化への可能性
—制度化に向けての論点整理

パネリスト
古屋幸一(財団法人自治体国際化協会 多文化共生部多文化共生課長)
結城 恵(群馬大学 大学教育・学生支援機構教育基盤センター教授)
石河久美子(日本福祉大学 社会福祉学部教授)
阿部 裕(多文化間精神医学会理事、明治学院大学 心理学部教授)
コーディネーター
山西優二(本学特任研究員、早稲田大学 文学学術院教授)

18:00

18:20 ■懇親会(アゴラ・グローバル1階)

参加者同士の交流を通してネットワークを広げてください。

19:30

※詳細はセンターHPをご覧ください(内容等若干変更する場合があります)。